

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【488】
2. 日時：令和5年5月31日 10時00分～11時20分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官\*、皆川管理官補佐、  
千明主任安全審査官、津金主任安全審査官、中村主任安全審査官、  
服部(正)主任安全審査官、岩崎安全審査官、府川安全審査官、  
服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、谷口技術参与、三浦技術参与、  
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋技術研究調査官、小林技術研究調査官、堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他7名

電源事業本部 耐震設計土木グループ 担当副長 他8名\*

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当\*

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長 他1名\*

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。
0:00:02	規制庁の千明です。それでは島根原子力発電所 2 号機、設工認のヒアリングを始めます。
0:00:08	本日午前の説明項目は、
0:00:11	四つ目が、いつ午後、
0:00:13	二つ目が大臣経産省となります。
0:00:16	それでは資料の確認と説明、の進め方について説明をお願いします。
0:00:24	中国電力内藤です。
0:00:26	本日は 2 件のご説明を予定しておりましてまず、溢水防護の方について、施設御説明質疑を実施させていただいて、
0:00:34	その後人の入れ替えがございますので一旦区切らせていただいて、仮設耐震構台の御説明。
0:00:41	そのあと、仮設。
0:00:44	耐震構台の御説明質疑を実施させていただきたいと考えておりますがよろしいでしょうか。
0:00:49	はい。その詰め方をお願いします。
0:00:51	中国電力内藤です承知いたしました。それでは溢水防護の説明について本社から押す、ご説明させていただきます。
0:01:02	中国電力の中西です。溢水防護についてご説明させていただきます。まず資料の裁判をさせていただきます。
0:01:10	資料番号読みますと資料ナンバーを一番大江とN-Sにほか、123 階 08 です。
0:01:17	あと資料のナンバー2 がN-S2.1032 回 04 です。
0:01:23	次、資料ナンバー3 が、N-S2.1032 回ゼロカッコ日です。
0:01:30	資料ナンバー4、NS2.1034 回 07 です。
0:01:35	資料ナンバー5NS2.10 サンゴ改 06 です。
0:01:40	資料ナンバー6NS2015 回、1118 です。以上資料三つです。
0:01:49	では早速ご説明させていただきます。
0:01:52	本日は、復水貯蔵タンク等を水源とした屋外タンク等による、水、
0:01:58	評価結果、またその他箇所につきまして、資料を適正化させていただいております。適正化した箇所についてご説明します。
0:02:06	まず、屋外タンク等による溢水評価に関する修正箇所について説明いたします。
0:02:12	資料ナンバー6 の 9 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	9 ページ、6 ポツに屋外タンク等からの溢水評価です。
0:02:30	屋外タンク等からの溢水評価におきまして、安全対策工事に伴う掘削オクを考慮した旨、
0:02:36	記載を追記しております。1 続きます、掘削箇所への雨水の流入を考慮した溢水影響評価すること、2 段落目に、
0:02:47	溢水伝播挙動評価は、地表面からの浸水深等々の審査のためには低くなるため、溢水伝播挙動評価におきましては考慮しない旨を追記しております。
0:02:59	同様にその他のページにも関与しております。
0:03:03	続きまして 11 ページをお願いします。
0:03:09	表のナンバー13 から 15 の復水貯蔵タンク。
0:03:13	ハウジョウ復水貯蔵タンク、トーラス水受入タンクにつきまして、2 号機の設備であることがわかるように、2 号という記載を追加をしております。
0:03:21	この 2 号という地裁のルールとしましては、本資料は 2 号機の工認指導であるため、基本的には説明紙を系統名称等に、2 号という記載はしておりませんが、
0:03:32	この屋外溢水の評価におきましては、他号機の設備と、と混在する場合がありますのでその場合は、2 号機であることがわかるように 2 号という記載を追加をしております。
0:03:43	13 ページをお願いします。
0:03:45	13 ページの下、注 135 につきましても同様に 2 号機であることがわかるように、2 号という記載をしております。
0:03:54	また、周知の 5 につきましては線量影響評価、
0:03:59	中期 5 で呼び込んでおりますが、呼び込む当初としましては、N-SI に補足 0202 のアクセスルートの補足説明資料を正としておりますのでこちらに
0:04:11	修正をしております。
0:04:15	続きまして 15 ページをお願いします。
0:04:22	15 ページのエと二つ目の黄色ハッチングです。
0:04:25	での溢水事象の設定におきまして、
0:04:30	記載の適正化ですが復水貯蔵タンク補助復水貯蔵タンク、トーラス受入タンク、
0:04:36	これを以下復水長タンク等と及び読みかえを記載をしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:41	またその下、水位 10.2 というところに黄色ハッチングがAと書いておりますが、こちら復水貯蔵タンクの処置スイトウに誤記がありましたので、修正をさせていただきます。
0:04:57	続きまして、
0:04:59	17 ページをお願いします。
0:05:09	17 ページの図 6 ポツ 2-3、損傷形態の概要図です。屋外です。
0:05:17	伝播挙動評価の損傷形態につきまして、真ん中復水貯蔵タンク、補助復水貯蔵タンク、トラス水受入タンクにつきまして、と。
0:05:27	どのような事象を考慮したかをこちらの図の中にも記載を追加しております。
0:05:33	当二つ読み上げます。配管から流出ある水稻の低減を考慮しております。
0:05:39	土地柄と二つ目、屋外配管ダクトに流入することから、
0:05:45	屋外配管ダクトが慢性なる時間を考慮している旨を追記しました。
0:05:52	続きまして 18 ページをお願いします。
0:05:58	18 ページ、基調 6 ポツ 2-3、溢水伝播挙動評価条件です。
0:06:04	溢水伝播挙動評価条件としまして条件を二つほど追加しております。
0:06:11	2 行目、計算格子セルサイズについて水平方向が 2 メートルから 2 メートル、高さ方向が地表面から 1 メートルまでは 0.2 メートル。
0:06:21	1 メートルから 2 メートルは 0.5 メートル。
0:06:24	条件として追加しました。
0:06:27	またこの水平方向の 2 メートル掛け 2 メートルですが、注記 1 ですが、
0:06:31	地表面高さからの浸水深がないと判断できる法面や、山林、
0:06:37	につきましては、2 メートル以上としている場合があることを追加してま
0:06:44	次に、時間、解析時間について地裁落ち表現を適正化してます。
0:06:50	また、
0:06:51	周知 2 としまして、
0:06:52	時間刻みは 0.1 秒としますが、流体解析の発散をするために、時間刻みを変更する旨追加をしました。
0:07:04	続いて 19 ページをお願いします。
0:07:11	溢水伝播挙動評価結果ですと来ず、6 ポツ 2-5 に屋外タンク等の溢水伝播挙動を示しておりますが、ここで示す溢水伝播挙動は、セルの体積分率 50%で形成した。
0:07:25	吹鳴を着色している旨へと追記しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:31	続いて 24 ページをお願いします。
0:07:42	24 ページからは、浸水深の時刻歴の絵と図を記載しております。
0:07:48	この図に、最大浸水深を算出した箇所を矢印で追記しその最大水深心を記載しております。
0:08:00	続いて 29 ページをお願いします。
0:08:09	表 6 ポツ 2-5 について
0:08:13	右から 2 列目につきまして建物外周扉等の設置高さである③から①を引いた値をわかりやすさの観点から追加しております。
0:08:25	また、一番右の、
0:08:28	列、建物外周。
0:08:30	扉等の設置高さを超える場合の判定基準。
0:08:34	の考え方。
0:08:36	と、その判定結果。
0:08:38	を注記で追加しております。
0:08:45	30 ページをお願いします。
0:08:49	30 ページ以降は、地震起因のSA建物の評価と、そのあと土石流による評価結果を記載しております。同様にわかりやすさの観点からご説明した内容の修正を実施しております。
0:09:03	72 ページをお願いします。
0:09:16	72 ページ別紙 3、地震による損傷形態を踏まえた屋外タンク等側の溢水評価の影響になります。
0:09:29	別紙 3 のA棟の中で、水源としない屋外タンク等のうち重油タンクにつきましては、バウンダリとして期待する部位としまして、防油堤等、
0:09:41	水防関野地裁が混在をしておりますので、ドイ水、
0:09:46	防止駅に記載を統一して文章を修正しております。
0:09:51	74 ページをお願いします。
0:09:58	74 ページ、復水貯蔵タンク等からの溢水に対する考え方と、漏えいの対応措置です。
0:10:05	別紙 5 の、
0:10:06	2 ポツ 1、
0:10:09	1 に付随地震による復水貯蔵タンクの損傷データの評価を記載しておりますが、復水貯蔵タンク等の構造及び評価結果を、別紙。
0:10:19	出納担当を呼び、読み込む記載をしました。
0:10:24	同様に 2 ポツ 2 につきましても者併記及びベースの構造並びに評価結果を別紙 7 から読み記載を追加しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:33	また、2 ポツ 1 の復水貯蔵タンクにつきましては、復水貯蔵タンクの評価に対する、
0:10:40	不確かさがある理由としまして、弱 4601 に規定する評価と異なる評価を実施している旨を追加しております。
0:10:52	76 ページをお願いします。
0:10:59	漏えいの措置、別紙 8 になります。
0:11:03	2 ポツの非管理区域の放射性物質を内包する液体の漏えいに対する要求のところにつきまして、
0:11:11	黄色ハッチングですが、
0:11:14	非管理区域への漏えいの防止の要求としましては、実用発電用原子炉の設置運転等に関する規則第 135 条に規定をされておりますので、その旨を追記をしております。
0:11:26	135 条に要求があり、92 条につきましては保安規定に定める幼虫が記載されていることから、92 条に従い定めている保安規定に基づき、漏えいの措置を実施するものとなります。
0:11:41	続いて 3 ポツです。
0:11:43	想定事象と漏えいの措置につきまして、
0:11:47	対応措置に関する機器の配置図を 11 に、ドレンサンプポンプの系統概略図を図に追加し、また、対応措置について説明がわかりやすくなるように、文章をちょっと修正いたしました。
0:12:01	7、通しページ 77 ページをお願いします。
0:12:07	と、図 1 の対応措置に関する機器の配置図にしまして、水系ドレンサンプポンプと隔離すると、手動弁を閉止する弁の例といたしまして、液体廃棄物処理系、
0:12:21	の手動弁の配置の例を示しております。
0:12:24	78 ページをお願いします。
0:12:29	図 2 としてドレンサンプポンプの系統概略図を追加をしております。
0:12:38	次に 79 ページをお願いします。
0:12:45	79 ページ、別紙 9 としまして屋外タンク等からの溢水評価における溢水伝播挙動評価の比較結果です。
0:12:56	まず、2 ポツ 2 です。水源のモデル化の変更点につきまして、
0:13:02	ワダに貯水槽のモデル化について、設置許可評価と工認評価でモデル化位置を追記し、設置許可評価では、EL49.8 メートルを下端としてモデル化をしておりましたが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:14	今回、モデル化位置はEL44メートル下端としてモデル化したことがわかるように記載を修正いたしました。
0:13:23	94 ページをお願いします。
0:13:33	94 ページは 4 ポツ比較結果に対する考察となります。
0:13:39	と、
0:13:39	こちらにつきましては設置許可評価結果に比べ、浸水深が低下した地点 4 につきまして、衛藤荒谷考察を追加したのでご説明いたします。
0:13:51	まず、資料御説明にあたり、2ヶ所誤記のがありますので、まずは訂正させてください。
0:13:58	94 ページの一番下の量。
0:14:02	地表面から 0.1 メートル未満の水が、
0:14:06	制定している場合には、浸水深分布図には着色されないと記載がありますが、正しくは 0.1 メートル水が伝播している場合、
0:14:15	2、訂正させていただきます。
0:14:19	続いて 95 ページをお願いします。
0:14:29	95 ページの、誤字につきましては、ずっと図 9 と、
0:14:35	旧の色の凡例につきまして、戸井田の凡例の一番左、
0:14:40	2、判例の開始が 0.05 以下と、とありますが、正しくは 0 メートルから着色をしているので、0 メートルとしてください。
0:14:51	同様に、図 12 の凡例につきましても、
0:14:55	凡例の一番左青示している色が 0.10 以下とありますが、正しくはこちらも 0 メートル以下となります。
0:15:06	動きについては以上となりますので説明に戻らせていただきます。
0:15:11	95 ページの図を用いてご説明をいたします。
0:15:18	95 ページの図 8 に地点 4 の浸水深時刻歴を、
0:15:24	図 9 に、430 秒時点の 8.5 メーター一番と 15 メーター盤の浸水深分布図を、
0:15:32	図中に、600 秒時点の 8.5 メーター盤の浸水深分布図を示します。
0:15:41	こちらは、図 8 に示しております通り、最大浸水深が、設置許可評価より下がっておりますのでその結果について考察を説明いたします。
0:15:55	まず、
0:15:58	9 ですが、図 9 は 430 秒秒アノ約 7 分当たりで、図 8 の浸水深分布図では、まだ水が、水位が立ってない、1.4 では水がない。
0:16:09	時点の図となりますが、溢水の伝播の傾向がわかる図として追加しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:15	まず、図中の左側、設置許可評価。
0:16:19	につきましては、赤で囲った地点 4 付近の箇所ですが、水が東側から西側に、
0:16:28	伝播した水が広範囲に分布していることがわかります。
0:16:33	次に工認評価になりますと、復水貯蔵タンク周りが、左下ですが、こちらが赤に着色をされておりまして、溢水が発生していることがわかります。
0:16:45	この復水貯蔵タンクから発生した水は、水は矢印、南から北に向けて書いておりますが、矢印で示しますミナミからの溢水と、あと東側から、
0:16:58	東川川の水の、
0:17:01	溢水により、赤羽区では、先ほど、広範囲に分布した水が、
0:17:07	北西方向から南東方向に斜線状の、
0:17:11	分布がしている形状に変わってることがわかります。
0:17:14	店舗の斜線状の溢水は中心部に向かって浸水深が高くなっておりま
0:17:20	す。
0:17:26	続いて、図中の 600 秒時点、こちらは 10 分時点になりますが、
0:17:39	左の設置許可評価では、東側から伝播した水が一様に広がっており、
0:17:42	地点 4 につきましてもツジが立っているということがわかります。
0:17:49	次に、工認評価に行きますと、
0:17:59	この分布が北西方向に流れてるように形状として流れているような傾向がわかります。
0:18:13	以上より、この地点 4 につきましては、工認評価では東側、また今回追加したCSCの南側からの 2 方向からの、
0:18:20	のイセの伝播により、北西方向に水が流される警護があり、東側からの
0:18:22	溢水の伝播の位置が弱くなることで、1.4 の最大浸水深が低下したと考
0:18:30	えております。
0:18:33	なお、この図中、図中の浸水深分布図についてちょっとご説明ですが、
0:18:42	セールの、
0:18:42	水がセルに占める体積分率 50%で訂正した水面を値数値として市推進ごとの
0:18:42	高さごとに着色して表示しております。
0:18:42	セルの体積分率を 50%としておりますことから、解析上は着色がない
0:18:42	部分においても、溢水は存在をしております。
0:18:42	セルのサイズは、地表面から 1メートルの高さにおいては、平面 2メー
0:18:42	トル過程 2メートル、高さ 0.2メートルとしておりますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:52	例としましては、地表面から 0.1 メートル未満で溢水が伝播している場合には、浸水分水は着色がされていないという、
0:19:02	ことになります。
0:19:03	考察の追加につきましては、以上になります。
0:19:08	続きまして、
0:19:12	97 ページをお願いします。
0:19:17	こちらは表現の適正化になります。
0:19:20	97 ページ、真ん中ですが、
0:19:23	1.5、90 の考察について、2 段落目の地裁を適正化をしております。
0:19:30	と時刻めは工認評価の方が小さいことから、より精緻な結果となっていると考えられると訂正をしております。
0:19:40	以上が屋外タンク等による溢水評価についてのとせ変更点になりますと、続きまして、その他資料の変更箇所についてご説明します。
0:19:52	資料 1 の 4 ページをお願いします。
0:19:56	来ます。
0:20:05	資料 1 の 4 ページです。
0:20:12	4 ページの真ん中下辺りに黄色ハッチングありますが、こちらはタンクの保有水の管理につきまして土地再を適正化してます。
0:20:23	以前は耐震性を向上させると、という記載をしておりましたが、中部電力の中でですね資料番号が今、すいません 1 ではなくて資料 2 で、
0:20:34	ですかねちょっと、
0:20:36	本社の方すいません、いいですかね。
0:20:41	訂正をお願いします。電力中です。
0:20:44	中国電力ナカイセアノ。失礼いたしました。資料番号 2 です。失礼いたしました。資料番号 2 の 6-1-1-9、
0:20:52	溢水等による損傷防止の基本方針の 4 ページです。失礼いたしました。
0:21:03	資料番号 2-4 ページになります。
0:21:11	市道番号 2 の 4 ページ、真ん中、中段の下に黄色の着色をしておりますが、
0:21:22	記載内容としましては、タンクの保有水量の管理につきまして、耐震性を向上させると、と記載をしておりましたが、記載を削除し、
0:21:31	保有水量をセト 1600 等に制限するという記載に適正化をしております。
0:21:42	次に参ります最後です。資料番号 6 ページ、説明資料番号 6 番の 6 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:58	補足説明資料の
0:22:04	6 ページになります。
0:22:11	補足説明資料 4 ポツを水源としないBCクラス、土木構造物の耐震評価の内容となります。
0:22:19	動きが問 1、1ヶ所ありますので、訂正させていただきます。ページ番号を、4 ポツ 4-1 と、記載をしておりますが、正しくは 4 ポツ 5-1 となりますので修正させていただきます。
0:22:36	本資料の概要としましては、評価対象としたBCクラス施設のうち、土木構造物につきましては、N-S2 歩 027、10-94、
0:22:48	水源としないBCクラス施設のうち土木構造物の耐震性に関する補足に土地作用していることから、こちらを読み込むと土地を追加をしております。
0:22:58	そう。
0:22:59	耐震評価のヒアリング時に、本資料をお示しする予定でしたが、できておりませんでしたので今回内部溢水のヒアリングで追加をさせて、
0:23:08	いただいております。
0:23:10	ヒアリングについては
0:23:12	内容はほぼ、
0:23:14	耐震性についてご説明を、年を完了しております。
0:23:20	説明は以上となります。
0:23:25	はい。規制庁橋浦です。それでは、今説明がありました内容に対して、確認する点がある方はお願いします。
0:24:02	規制庁ウエキです。
0:24:05	ちょっと資料 6。
0:24:08	お願いします。
0:24:13	20 ページ。
0:24:17	イセです。
0:24:21	(3)で黄色ハッチングしたところで、浸水深は
0:24:27	セルの堆積分率 50%で形成した水面から、
0:24:32	算出しているってということなんですけど。
0:24:36	ちょっと教えていただきたいんですが
0:24:41	等、浸水深をこれで決めているとすると、浸水深より、
0:24:50	上の部分でも
0:24:55	%未満というか、
0:24:57	とそ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:58	その分は解析上水が、
0:25:01	その存在するっていうことだと思んですけど、これですアノ水浸水評価に使う。
0:25:09	浸水深を出しても問題ないってことなんでしょうか。
0:25:21	中国電力の仲西です。この溢水伝播挙動評価は、
0:25:28	FLUENTで解析を実施しておりますが、このFluentにつきましては、燃料プールのスロッシング等にも用いております。
0:25:38	ちょっと本日、私できておりませんが、スロッシングの解析におきましても、体積分率 50%で解析、
0:25:49	を実施しており、その資料の中では、実際の強度と合っているということ
	を、
0:25:56	記載をしております。一般的に 50%ですもの。
0:26:00	ものでもあると思うか通り問題ないと考えております。以上です。
0:26:07	規制庁大木です。
0:26:09	ちょっと単純な質問で、パッと考えると 50%、
0:26:14	ていうのは
0:26:17	席上の種処理としてこうやってるっていうのは、
0:26:22	燃料プールでもやってる。
0:26:24	ということなんで、それはそれでいいとして、
0:26:28	ちょっと単純な質問として、さっき言ったように、
0:26:32	何か
0:26:34	0 ではなく、結局推進推進より上、
0:26:39	のウエイトところでも、結局、0 ではないってということなんですよね。これは文字どおり表。
0:26:46	違うんですか。
0:26:55	規制庁幾つちょっと言いたかったのは解析上ですねそうそういう
0:27:01	処理をして、す。
0:27:04	水境界面というか水面を出しているっていうのは
0:27:08	理解はしてるんですけど。
0:27:11	何か、それに対して、
0:27:14	甲斐康説明解説というか、それで問題ないってことは何か言う必要が、
0:27:23	ある、あるんじゃないかなと思んですけど。
0:27:27	不独法とかよく、よく内容を知ってる人は、あまり疑問に持たないのかも
	しれないんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:36	この文章だけを読んでも、何かそういう疑問が、
0:27:40	ちょっと湧いてしまって、
0:27:44	水の流れて着色してる、着色してる部分はこうですっていう、
0:27:50	ことであれば、別に表示だけの問題なんで、いいのかなと思うんですけど、これで浸水し、
0:27:57	指針を出して、
0:27:59	積というか中に入らないとかそういう評価をしているとすると、ちょっと何か補足があるんじゃないかなと思ったんですけど。
0:28:18	中国電力の仲西です。はい。
0:28:22	ご質問のご指摘の内容理解しましたこの解析体積分率 50%につきまして、この妥当性等、説明する、補足が要るんじゃないかというのを理解しました。
0:28:36	内容としましては 50%としまして隣接するセルですとか、50、50%未満だから必ず水が出てないというわけではございませんので、
0:28:46	地裁について補足する旨を検討したいと考えております。以上です。
0:28:53	規制庁植木ですはい。お願いします。
0:29:02	あ、規制庁の服部です。ちょっと今の話に関連してちょっと1点だけ、私の認識を確認したいと思います。
0:29:10	退席
0:29:13	率 50%にならないと、そのセルが、水があるということにならないということは、下から徐々に水が上がって、そのセルに対して上がってきたときに、
0:29:26	半分以上まで水が上がってきて初めて、そのセルが見ズーがあるんだという評価になるというふうに私は理解したんですよ。
0:29:37	今、
0:29:38	高さが 20 センチなので、
0:29:41	そのセルの、
0:29:43	半分、要するに 10 センチまでは、
0:29:48	水があっても、そのセルは水があるというふうに認識しない。
0:29:53	というふうに理解したので、
0:29:55	結局
0:29:57	何だろう、
0:29:59	最高点を見たときに、
0:30:02	10 センチの誤差が出てくる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:05	というふうに認識したんですね最高点仁田さ一番最高のシェルが、10センチ以内に入って、
0:30:13	安重センチ以上上がっていなければそのセルは認識しないので、そのセルの方が最高水位になるということは、
0:30:20	9.9センチになっても、
0:30:23	それは9.9センチというのを認識せずに0センチというふうにその制度の中で反応するっていうことになってると。
0:30:31	今は
0:30:32	イスイ評価のところで、その微妙に、
0:30:36	1センチ高いから、す、なんだろう積が1センチ高いから大丈夫ですっていう評価になってるところは、実はもしかするとNGになってる可能性もあるのかな。
0:30:46	というふうに、
0:30:48	思ったんですけど、その認識は間違ってますか。中国電力田村です。10センチが行く。
0:30:57	必ずズー。
0:30:59	記述されないわけではなくて、このやり方でやると。薄井。
0:31:04	例えば8センチぐらいの薄く、何か野瀬でも繋がってあるとそういうふうになってしまうと。
0:31:12	だから、1個50センチを50%を超えると、その前後の
0:31:17	体積分率からしたがって水面の形成を出すので、
0:31:22	嘘。
0:31:23	何か水位がちゃんと立つようなところはちゃんとちゃんと追加ですんで、だから、この斜面みたいなところで薄く、5センチなりがずっと流れているようなところは、
0:31:34	8センチとかだと出ませんってことです、
0:31:39	そういう場合もあるんですけども、今、席は全部20センチ以上ありますので、なので
0:31:46	必ず10センチを超えたら必ずそこで引かかってその周りの水を、
0:31:52	10センチ以下も一応設定することになっておりますので、数なので、石は10センチ以上ありますので、そういうところをちゃんととらえていますので、そういう、その積が、
0:32:05	まだ化石が3センチしかないようなものがあると、その薄く数と流れるような推移でとらえられなくて、ご懸念のようなことがあるかもしれないですけどそういうことはない、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:17	植木さんのご指摘の通り席がえと7センチ以上であり、
0:32:25	この評価で問題ないという旨を追記いたします以上です。
0:32:30	規制庁の服部です私が聞いているのはその点じゃなくてそれは、地表面から10センチ以内には話をすると。私は地表面から例えば30センチ、
0:32:41	の上にさらにセルがあだから、
0:32:44	20センチのセルが載ってるんだから例えば4、
0:32:48	三つ目のセルは60数呉40センチから60センチの間にあるわけですよね。
0:32:55	高さ的に。
0:32:57	その余三つ、三つ目のセルの、
0:32:59	もう体積、もう半分まで、そのセルの半分まで水が上がらないと、水が上がったことにならないということですよ。
0:33:09	だから実際に、中央のタムラとそういうものではなくて、50%になると、隣接するせりセルの対策分率が、
0:33:19	0でも10でも20でも、そこを見に行くと、そこで
0:33:26	いろいろ提案されている手法で水面形成をしますので、そういうふうな、
0:33:31	50センチ以上のところは、隣接スルーするが0%であっても10%であっても、そこの分布を考慮して、睡眠を設定する手法です。以上です。
0:33:44	規制庁の服部ですすみませんそれはゆ流れてきたときは、勾配があるからそうなんですけど例えば雨が降ったとき日、平たいところで雨が降った時は、下から、
0:33:54	頭分布でずっと上がってきますよね。
0:33:57	そうすると勾配ってつかないから、ずっと上がってくるから、隣のセルも同じような状況にあるわけじゃないですか。
0:34:04	そうすると、反応しないってことでしょ。
0:34:07	そうじゃないってことですか。中国電力の長田です。今、一番地表面から、10センチぐらいはとらえられないことがあるというご説明をしてそれが、もう1個上のセルでも起きるんじゃないかというご指摘だと思います。
0:34:21	それに対してはですね下のセルがもうその場合は100%になって
0:34:27	上流、必ず流下していくのでそういう意味では間必ず海面が東地面が形成されます。ですので、
0:34:38	10センチの差、一つ、20センチのセルのもう1個上に、10センチの平らなものがずっとあり続けるということは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:48	ありえなくてですね必ずこう流れていきますので、
0:34:53	海面、この赤い、すいません、東地面といえますか
0:34:59	解析上のその処理で、水面を形成しますので、
0:35:06	我々御説明アノ文書の中でもさせていただきますが、地表面から 10 センチ以内のところではそういう平らなものがずっと流れ続けるとか、そういうことが、
0:35:18	平良とか低い、10 センチより低いものが流れ続けることがあった場合にそれは、
0:35:24	検出水深として検知してない場合が、してないんですけども、それはもう
0:35:33	建物の扉の下端高さとかが、大体 30 センチ一番低いところで 20 センチありますので、やはりそこはそういう問題にはならないというふうに考えています。以上です。
0:35:44	規制庁の服部です。必ず流れるということなんですけど、それは
0:35:51	ただっ広い元アノな本当に水平成層の原案の中だと、流れないこともあるわけですね雨降ったらね。
0:35:58	ていうのを実装間確認したんですけど今話を聞くとし、一番下のセルが 100%になってれば、
0:36:04	もうその上のセルは、50%に満たなくても、ちゃんと高さを検出するってということなんという理解をしたんですけどそれでよろしいですか。
0:36:13	はい。中国電力の長田です。10 センチある時点でもう勾配が必ずできますので、はい。
0:36:21	今の例えば 6 番の資料の、
0:36:25	19 ページとかに
0:36:28	敷地図、両数ごとに出してますけれども、
0:36:32	紙でいうと上の方に向かってですね、-
0:36:44	南から北、カミデいいますと下から上に、溢水は流れていきますので服部さんのご懸念されてるような事象は起こらないというふうに考えてます。以上です。
0:36:55	規制庁の発表ですはいわかりました。ちょっと不難しい話は少しわからないんですけど今話は理解しましたので、私からは以上です。
0:37:10	規制庁植木ですちょっと今話の続きで、例えば資料 6 のですね、
0:37:17	29 ページ。
0:37:20	2、
0:37:23	浸水深に対する評価結果っていうのがあって、一番右が判定基準。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:31	んなってると思うんですけど、
0:37:34	例えば、1.8 とかだと、
0:37:39	最大浸水深が、02 ですか、0.25。
0:37:45	メートルで、
0:37:48	背扉等の設置高さっていうので、0.3 メートルになってる。
0:37:54	その差って 55 センチなわけですね、ここ、こういう場合に、さっきのその 50 堆積 50%、
0:38:04	D、水深を決めていると。
0:38:07	それよりそれよりでも、
0:38:10	水は、
0:38:12	あるんじゃないんでしょうかっていう、そういう質問だったんですけど。
0:38:18	中国電力田村です。少し繰り返しになるんですけど、
0:38:23	20 センチを超えたらもう、一番下の整理は 100%になってますんで、確実に検知してますので、その上とか下とか上下左右全部、その周りの
0:38:34	暴風を見に行つて、0 でも 10 でも 50 でも 80 でも、そこそこの
0:38:40	比率に応じて水面を形成しますので、問題がある、そうですね精度が悪くなるのは、
0:38:48	一番下のセルが 50%以下がだから水深が 10 センチ以下のところが、そういうセルが複数個続くと。
0:38:59	精度が悪くなると、ということなので、10 センチを超えると確実に検知して、設定されたいろんな手法があるんですけどそれで評価されるので、
0:39:10	だから今はナカ斜面とかで、未遂が早くて、水深が浅いところが普通と流れていくと、そこは水がないように、見えるというかそういう検知をするということですよ以上です。
0:39:25	規制庁Excessえっとちょっとなかなかすぐには理解できなくて、今日
0:39:32	前回からの変更点ということで、
0:39:36	堆積率 5 アノ 50%っていうのが今回初めて出てきて、今までそういうところは気がつかなかったんですけど、そういうふうにも、
0:39:47	資料 2 か書いてしまうと、やっぱりちょっと解説っていうか、いる、いる、ちょっと繰り返しになりますけど、
0:39:56	50%にしてるっていうのは多分、
0:40:00	いろいろなところでそうやってるので、そういう扱いで問題ないと思うんですけど。
0:40:06	資料としてですねやっぱり何かそういう
0:40:09	説明が要るんだと思う。ちょっとこれが多分悪い。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:14	とは私も思わないんですけど。
0:40:17	何か大雪がいるんじゃないでしょうかってことなんで、今説明していただいたような、
0:40:23	ことかもしれないんですけど、
0:40:25	中国電力田村です。
0:40:29	はい。図使い等をしてご説明しないと、なかなかわからないしご回答。
0:40:36	をしていただいて、
0:40:38	招くと、それもよくないので、図解してお示しすることができますので、こういうときは、こうやってますということとこういう時はちょっと出てないかもしれないですけども、
0:40:50	年今野関安宅里から考えると、問題ありませんという資料をちょっと追加いたします。以上です。
0:40:59	規制庁駅です
0:41:01	そ追加するとあと、1019 ページにですね
0:41:07	資料 6-19 ページ 2、一応土佐さん、一番最初に、ここで体積分率 50%の話が出てきて、多分この野瀬説明のですね、
0:41:21	セルの対積分率 50%って言ってもちょっと何か文章だけだと、何を言ってるのかわからなくて、これって、
0:41:30	いろいろネットとか調べるとよく出てる、僕方の説明でよく出てるような話で、ちょっとそずーとセルを変えて、
0:41:42	50%、
0:41:44	細かいところはいいとは思うんですけどとにかく 50%ってどんなもんかっていうのはやっぱりちょっと図なんかを含めて、説明をして、
0:41:57	増井どうやって出してるかとかそういう細かいところはいらないと思うんですけど、とにかく堆積率 50%自体も何を言ってるのかちょっとよくわからないところがあるので、
0:42:08	まず最初にそういう説明も、
0:42:10	これ補足説明資料なので、ちょっと付け、
0:42:14	ここに図を付け加えていただきたいんですけど。
0:42:25	はい。中国電力の長田です。はい。はい堆積分裂のイメージがわかるような図を追加したいと思います。以上です。
0:42:35	規制庁植木です。はい。よろしくお願ひします多分そういうそういう図がないと先ほどの説明のなかなか文章だけでっていうのは難しいと思うんで、
0:42:44	よろしくお願ひします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:47	それからちょっと記載っていうか、確認、
0:42:54	なんですけど、
0:42:56	すいません、ちょっと資料戻っ。
0:42:59	し、資料2のですね、
0:43:04	4ページ。
0:43:06	これは本当確認だけなんですけど、今回黄色ハッチングして、制限するっていう、
0:43:14	ことで、耐専工場とかっていうのは、
0:43:18	削除してるんですけど、ここに出てるバンクですね1号復水貯蔵タンクから始まって、
0:43:27	いくつかタンク、
0:43:30	通行のタンクがある、あって、
0:43:33	推量が出てるんですけど、これらはすべて、背制限。
0:43:39	当初の
0:43:42	水量からせず、すべてのタンクがこの辺りに制限されたっていう理解でよろしいんでしょうか。それともタンクによっては、
0:43:50	制限じゃなくてもうそのままでもいい、よかったものもある。
0:43:55	ということなんでしょうか。これ、そのまま江本すべての担当なんか制限してるっていうふうに読んだんですけど、そういうことでよろしいんですか。
0:44:05	中国電力の長田です。ちょっとご質問の趣旨がちょっとうまくとらえられ、
0:44:11	出ないかもしれないですけどすべての、
0:44:13	タンク、
0:44:16	中国電力田村です。はい。すべて、この数字に制限します。以上です。
0:44:22	規制庁、ウエキですわかりました。何らかの数制限を、すべてのタンクに対してしてるということです。すべて加古に上がってるタンクについて、はい、わかりました。
0:44:34	それから、
0:44:39	資料6。
0:44:42	そうですね。先ほど説明のあった11ページ。
0:44:47	黄色ハッチング、この三つのタンクについては、ちょっと他号機と紛らわしいんで、
0:44:57	2号というやつを、
0:45:00	付けましたということなんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:03	ちょっとこのルールがよくわからなくてええと、
0:45:10	先ほど説明あったようにほとんどの設備は2号、
0:45:15	2号のやつは2号っていうのがついてなくて、
0:45:22	今の先ほどの説明は、例えば同じ名前のタンクが他号機にあった場合は、
0:45:29	2号っていう言葉をつけるってことなんですかね、例えば、12ページ。
0:45:37	25番の2号ろ過水タンクとか20
0:45:42	8番の2号城託送っていうんですかね。
0:45:47	とか、
0:45:49	こういうものはもともと2号っていうのがついてたんですけどこれは、
0:45:54	他の号機で、今回のこの評価で、サンゴとか1号っていうのが同じ名前のものは
0:46:02	他のもともと2号っていうのは、
0:46:06	ついていたのか。
0:46:08	ちょっとルールがちょっとよくわからなくて、ちょっとその辺を教えて欲しいんですけど。
0:46:14	はい。中国電力の永田です。ちょっと冒頭にご説明させていただきましたのはこの部分以外もですね内部溢水の評価ですので2号機の中の、
0:46:26	系統とかそういうものは自明なので、2号はつけませんというご説明をさせていただきました。この屋外タンクは島根サイト敷地を全部
0:46:38	考えておりますので、まず、
0:46:42	ぜひ、
0:46:42	大前提として目的は、同じ名前があると、識別ができませんので、それはきちんとしなければいけないということです。ここは復水貯蔵タンク、
0:46:53	3号炉とかもございまして、そういう意味では
0:46:56	2号を書いておかないといけないということです。で、先ほどの所託送とかそういうものは水ろ過関係は、いろいろ共用的な設備として
0:47:08	原子炉の1号2号というのとまた別の名前をつけてるものもございまして。そういうところで各人識別ができるようにということが大前提で、
0:47:19	はい。ここは正確に申し上げますと、発電炉の号炉とはちょっと違う意味合いでの名前もついているとそういう状況でございまして。以上です。
0:47:31	規制庁大池です理解しました。
0:47:35	何かあれですかね。
0:47:39	説明、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:42	そうすると、その例外が今回あれなんですかね、11 ページの。
0:47:49	三つのタンクがちょっと例外で本来はつけなくてもいいんだ。
0:47:54	しか。
0:47:55	ではない、ないんですかねちょっと何かやっぱり、
0:48:00	1 個、
0:48:00	方がいいのか、ここでは、こうこういう理由で、2 号っていうのを、この三つのタンクについてはつけたとか何か、
0:48:09	書いた方が、何かちょっとルール、
0:48:13	と違う書き方になっているので、一言書いておいた方がいいのかなと思っただけなんですけど。中国電力の長田です。名越理解しましたこの屋外タンクのところは敷地すべてを、
0:48:25	考えているので、2 号炉のものについても、ボールを追記しているとかそういうような、
0:48:31	備考に補足を書きたいと思います以上です。
0:48:43	規制庁池です。はい、わかりましたよろしくお願いします。それと私からは以上です。
0:48:53	規制庁の服部です私から 1 点だけちょっと確認させてください。
0:48:57	前か他のヒアリングも聞いたんですけど、
0:49:02	ちょっと先ほど資料を引くときに補足説明資料、補足説明資料で、他の資料を引くときに、
0:49:10	N-S II の方の何とか何とかってところの何とか何とか、
0:49:16	というものを引きますみたいな説明が少しあったと思います。
0:49:19	それがちょっとどこかわかんなくなっちゃったんですが、例えば、⑥の資料の 72 ページをお願いします。
0:49:29	ここにここは引いてるわけではないんですけども、補足説明資料 2、例えば(1)であれば、補N-Sの補足 020-2 って書いてあって、
0:49:42	(2)であれば、N-SII-補-027-10-17 とかこういう番号をつけてるということなんですね。
0:49:50	これって、
0:49:52	例えば今のこの⑥の資料の表紙を見ると、
0:49:58	確かに上の方にタグがついていて、この、これが
0:50:03	提出される資料もついていけば、問題はないかと思うんですが、
0:50:07	提出年月日とかもあるんで、何かこれは消えるような気がします。
0:50:12	ので、それがこの補足説明資料の上にきちんとつくのかっていうのが一つと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:17	あと、
0:50:18	具体的に 72 ページを見ると、
0:50:21	容器のスロッシングによる屋根の影響評価についてっていう補足説明資料みたいになってますけど、
0:50:28	私の認識だと補足説明資料って、この⑥のある、頭にあるように、
0:50:34	工事計画に関わる補足説明資料括弧、溢水防護に関する説明書に関する補足説明資料とか何かそんな感じのもので何かバクツとした表紙だったような気がしていて、
0:50:45	実際これって引けるようになるんでしょうか。
0:50:57	中国電力の中田です少々お待ちください。
0:51:10	中国電力の内藤です。ちょっと今、72 ページとかですね
0:51:16	N-Sに補足となっていたり方となっていたり、数ちょっとばらついてるところは統一したいと。この資料だけじゃなくて全体。
0:51:25	添付書類の方は統一して書いてるんですけど補足説明資料の方がちょっとばらついてるところあるので、ちょっとそこは統一したいと思います。で、あとこの引けるのかというところですけど、
0:51:40	今お出ししてるのものはすべて
0:51:43	最初のページN-Sに法という形のものが入ってるんですが最後、
0:51:48	お出しする時にこれが消える場合はですね
0:51:53	補足。
0:51:56	015、今回の資料では補足 015 になると思うので、ちょっとそこは確認した上でちゃんと引けるような、
0:52:04	形で
0:52:06	識別したいと思います以上です。
0:52:08	規制庁のハトリですはいわかりました。例えば紙にしたときでもファイルにした時は頭につけることはあたりして、するんですけど紙にした時でも、
0:52:18	わかるようにして欲しいし、
0:52:20	私のイメージでは、この補足説明資料って、添付の 4、4 ノロ、6-2 の何とか何とか何とか
0:52:29	の、
0:52:30	補足説明資料の中の、
0:52:35	参考資料 2 の 5-3 とかなんかそういうふうにかくのかなと思ってN-S 何とか何とかっていうのは、あくまでもヒアリングにおけるわかりやすさの観点での、その仮の番号なのかなと思ったので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:48	そこら辺は踏まえてきちっと引けるようにしていただきたいと思いますので、その点よろしくお願ひします私から以上です。
0:52:58	規制庁大橋です。確認なんですけど、⑥の資料の、
0:53:03	72 ページ、72 ページの別紙 3 ですが、
0:53:09	ここでは自明 2 の文章の中で、
0:53:13	基準地震動Ssに対して、
0:53:16	バウンダリー機能が保持できることを前提とした屋外タンク等って書いてあるんですが、
0:53:23	これは屋外タンクがSsに対して損傷しないっていうことのほか以外に、
0:53:29	屋外タンクの周辺にある。
0:53:33	A水防私益はSs対応なので、そこから漏れないとか、
0:53:41	タンクでスロッシングがあつて仮に漏れたとしても、その壁で止まるっていうそういうのを含めて、バウンダリー機能が保持できるっていう意味ですか。
0:53:57	中国電力のナガエオクアノ今おっしゃっていただいたご理解の通りでございます。以上です。
0:54:02	規制庁大橋です。
0:54:04	この別紙 3 っていう資料自体は、ここ検討 1 からやるというよりは、
0:54:10	両括弧 1 とか両括弧 2 みたいに、他の補足説明資料等に、
0:54:15	書いてますよっていうのを明示するのが主目的かなとは思んですけど。
0:54:20	主、両括弧 3 の、水防収益の中で損傷する屋外タンク等の影響っていうのが、
0:54:27	他の資料を引用してきてないんですけども、
0:54:31	それが検討の結果が該当するのが、次の 73 ページの
0:54:37	No.3No.2No.1 の自由短食うの評価のことかなと思うんですが、
0:54:45	ここの一番右側の溢水評価への影響の中で、
0:54:52	最後にですね、タンクと溢水防止駅までの距離が 7 メーター以上あることから、敷地への流出の可能性は小さいっていう、
0:55:03	ここが何で 7 メーター距離があると、溢水しないっていう評価できるのかっていうのが、
0:55:11	ちょっとわからないんで、他 2、
0:55:13	補足説明資料から引用してるんだっいたらいいかもしれないんですけど、ここしか書いてないんだっいたら、
0:55:19	ちょっと説明が必要かなと思いますけどどうでしょう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:37	はい。中国電力の長田です。
0:55:40	ここ、
0:55:43	ですねはい。
0:55:48	へえ。
0:55:50	そうですね
0:55:51	ここは溢水防止駅までの、
0:55:54	距離が7メートル、
0:55:57	もともとあった復水貯蔵タンクのように遮へい器までの距離が近いとか そういうものではなかったの、ちょっと今このような記載にしております けれども、
0:56:08	はい。もう少し記載を補足をして、
0:56:12	説明を充実させたいと思います。以上です。
0:56:17	規制庁大橋です。
0:56:19	書類だけ直しといてください。以上です。
0:56:31	規制庁の山浦ですけど、6番の資料の72ページで、
0:56:38	今の大橋椎野質問にも関連するんですけど、
0:56:42	元のところでバウンダリー機能が保持できるという話があってこのババ ンダリーっていうのは、
0:56:49	あちこちでちょっと使われてて定義がちょっと不明確なんですけど、
0:56:54	(3)の文章を見ると、
0:56:59	バウンダリー機能を期待する漏水防止堰の中で地震によりタンクが損 傷した場合には、
0:57:07	キクチ内包水が流出する事象を想定するというので、
0:57:12	バウンダリー機能というのは構造的にはほぼ健全だけでも少しは、
0:57:18	漏れる。
0:57:20	状態ということを、番台機能と言ってるように思うんですが、
0:57:25	その付近の定義はどうなってるんでしょうか。
0:57:31	はい。中国電力の長田です。こちらの(3)の水防私益の方は、
0:57:39	個別に水、冒頭にもありますように、
0:57:47	基準地震動Ssによって健全性を維持するとしておりまして、耐震評価 の方も、
0:57:56	はい。土建部門の方で説明をさしていただいています。確かあの、
0:58:01	褶曲とかではなくて、
0:58:06	弾性域におさまる評価だったように記憶しております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:12	すいませんちょっとよくわからないんですけど、バウンダリー機能を有するアノイ水防収益っていうのは、
0:58:21	耐漏えい機能を
0:58:25	維持するということなんでしょうか。そういう理解でよろしいでしょうか。
0:58:34	中国電力の中西です。衛藤バウンダリーの定義としましては、水を出さないという定義となっております、
0:58:43	ちょっと今、ご指摘のあったところの記載としましては(3)のところでも7内包水が流出する事象を想定するところという書き出しにしておりますが、結論としましては、防止液が先ほど申された親水機能とかをもって、
0:58:58	水に対して十分余裕がある設定としてるので、漏れませんという、こういう構造になってるので、指示に漏れないということを説明しているところとなります。
0:59:08	以上中国電力ヨシツグでございます。少し土木側から補足をさせていただきますと、
0:59:14	イセ防止壁自体についてBCCで、
0:59:18	医師させない。
0:59:20	ということの方の耐震性の方の説明をさせていただきます。
0:59:24	先ほど、本社からありました通りその中のタンクの方が損傷して、
0:59:29	衛藤井水防止壁の方に水が来るんですけども、それまでにこの防水水の防止壁の方は耐震性を弾性領域内で確保できておりますので、
0:59:42	外には水を出さないと。
0:59:44	ということで溢水評価への影響はないという、記載の方をさせていただきます。以上です。
0:59:54	単純にここの文章だ形の理解をちょっとしたいんですけど、
1:00:01	タンクから、
1:00:03	水が漏れて、その外側に
1:00:07	灯油水防止壁があるんですけども、
1:00:10	それが、
1:00:12	あっても敷地内包水が流出する事象を想定するっていうのは、
1:00:18	どういふことなんでしたっけ。
1:00:24	はい。中国電力ヨシツグちょっと言葉が足りなくて申し訳ございません。おっしゃられる通り、タンクの周りに壁がございます。
1:00:32	その壁の丹が壊れて、その壁のところも敷地という表現をちょっと使っているんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:40	ここでは炭化損傷した場合、この水防止壁の中のところに内包水が流出するというのが言いたかったところでございますただ、その防止壁より外の敷地の方には、
1:00:55	いきませんと、そういうのがちょっと言いたかったところの文書でございます。以上です。
1:01:09	中国電力の方で少し補足させていただきます。もともとこの別紙3の資料がですね、そういういろんなタンクの損傷、
1:01:19	形態とかそういうものを踏まえても、溢水上影響がないかと、いうことです。そういう場合に、出だしの整理として、中で、壊れた場合にでも敷地に出ないかどうかということ、
1:01:33	評価し、考えてみますという出だしの文章になっていると。結局
1:01:39	以降は、ご説明させていただいた通りで、
1:01:44	壁の高さに対して水位も低いですし敷地に出るようなことはないというような結論にしております以上です。
1:01:52	すいませんちょっとだけ、もう1回確認したいな。敷地というのは、水防指令木野なナカノ。
1:01:59	どっちのことを言ってるのか。
1:02:01	イスイ防止駅の外のいわゆるさサイトの敷地を言ってるのかどっちなんでしょうか。
1:02:10	中国電力のナガタですここの敷地は、
1:02:14	水の安全機能の評価外のことを言ってますので、はいちょっとこの辺の、
1:02:22	はい事象を想定するとか、ちょっと本当にそういうことを書いておりますけどもそれを新宮ところも書いてますけど、ちょっと
1:02:29	導入分として、ちょっと誤解を招きやすいような記載になってるかなと思いましたが、はいちょっと表現の方を考えたいと思います以上です。
1:02:40	はい、了解しました。
1:02:42	例えば仮想的にし、そういうふうに想定するんだったらそれがわかるような、ちょっと、
1:02:47	表現をお願いしたいと思います。
1:02:50	それから、74ページなんですが、
1:02:55	2.1で地震による復水所貯蔵タンク等の損傷形態の評価なんですけど、
1:03:03	第1パラグラフ
1:03:06	もう、都道の破断及び、
1:03:09	疲労破損は生じないと評価されたと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:12	ということで、その次に続く文章は、
1:03:19	漏えいを生じるような村莊形態がないことが確認されたとかそういうふうな、
1:03:25	文章になるのかなと思って読んでると。
1:03:32	弾塑性弾塑性特性を考慮した評価を実施しており、云々で不確定性がある、漏えいが生じる可能性は否定できないと。
1:03:42	というのが、文末に来てるんですけども、
1:03:47	この評価をした結果、
1:03:51	漏えいを生じるような損傷形態が、
1:03:55	起こりえない、起こらないと。
1:03:58	確認されたとか評価されたとかそういうふうな文章。
1:04:03	ではなくて、やっぱり心配だということなんではないですか。
1:04:14	はい
1:04:16	それを受けて、次のページの 2.3 のところに不具合タンク等からの溢水評価のところに書いてありますけど、
1:04:23	基準地震動井清線地震力により、大きな損傷は生じないと評価されたが、評価における不確かさを踏まえると、漏えいだから高桑飛んでいつて遮へいにぶつかるかそういうような壊れ方はしないけども
1:04:40	クラックとかが入る可能性までは否定できないという、
1:04:44	ふうなところで、はい、2.1 の結果を受けて 2.3 でそのように書いております以上です。
1:04:54	それでまあ、2.1 心配事として初期不整による座屈への影響。
1:05:00	これが起きて起きたら、
1:05:03	大破断になってしまう可能性もあるんですけど、2 番目が、タンクの配管接続部の影響。
1:05:09	3 番目がスロッシングによる屋根への影響というこれ、
1:05:13	屋根から大量に出る。
1:05:17	可能性もあり得るようなことなんですけど、
1:05:20	この三つを挙げて 2.3.21 たら、
1:05:23	配管の完全全周破断を想定し、というのはちょっとここが、
1:05:29	2.1 の三つから一つに、ちょっと飛び過ぎてて、
1:05:34	ここは、
1:05:38	ちょっとね、この繋がりが、
1:05:41	何となくすつとこないんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:44	この中国電力タムラです 2.3 で、タンク等から生じる可能性はできないと、あとそのあとに遮へい比木もありますので、また、娩出には微細のひび割れが想定されることから、
1:05:58	保守的に設備配管の完全全周破断を想定しとありまして、タンクがある程度壊れて水が出たとしても、遮へい機で共有できると。で、
1:06:09	その遮へいからの漏えい量は、
1:06:13	ちょっと今推移。
1:06:15	漏えい率を、ちょっとここには書いてませんが、すごく少ない量だっということ、
1:06:23	を評価しておりまして、遮へい下の漏洩量。
1:06:28	に対して、十分かなり保守的な配管の完全全周破断を想定するというふうなところを、ここでまとめて書いておりまして、ここには飛ばしている。
1:06:38	評価書、別紙の中でご説明しております以上です。
1:06:43	規制庁の山浦ですけど、2.1 で、
1:06:47	座屈への影響が心配だ、スロッシングによる
1:06:51	宇井アマヤ値からの漏水が心配だということだったら、この二つの心配事項がそのまま残ったままになるような気がするんですが、
1:07:03	この表現っていう、
1:07:08	この表現がの残るか限り名なんで、
1:07:11	配管だけで配管の接続だけ。
1:07:15	演習破断を想定すればいいのかっていうのがちょっと繋がりが、
1:07:21	ロジックは繋がらないと思うんですけど、このこの二つはどっかで、
1:07:25	一応、
1:07:28	否定するなりまず起こりえないとかそういうことを書いとくべきじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:07:48	この三つは懸念がある、あるけども、基本的には起こらないけども、仮想的に配管破断を、
1:07:56	想定しましたって言うんだったらなんか若干わかるんですけど、
1:08:00	2.3 の方も保守的に、
1:08:03	想定するというので、
1:08:07	起こり得るような感じでもあるんですけど、
1:08:11	ちょっとこの付近が何かすっきりしないなという。
1:08:15	ちょっと感じたんですけど。
1:08:17	いかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:30	あと、タンクの方はここはこの構成としてはこういうこともあるので、遮へい器のほうにたまって遮へい器に満水になったとしても、こんぐらいの漏えい率だっていうのを評価しておりますその数値、
1:08:50	中国電力の仲西です。今タムラの補足しますと数値は別紙 7 に書いておりますして 0.02 立米パーアワー1 時間に、0.02 立米。
1:09:01	程度出ると、記載をしております。以上です。
1:09:10	ちょっともう 1 回言いますと 2.1 でこういう三つぐらいの心配事項があるので、
1:09:19	タンクから漏れるかもしれませんが、で漏れた場合でも、
1:09:30	漏れたん。
1:09:31	漏れた場合に、この三つ書かれてて、配管の
1:09:37	中部電力タムラねそのままずっと飛んでいくのがちょっと、
1:09:41	すいません。すいません。あと、2.1 の後に 2.2 がございまして、次侵入者遮へい比木の方の総称検体の評価をしております。
1:09:51	そこでは、微細なひびは入るかもしれないけども、
1:10:00	その程度ですと、ちゃんと数社経費は、水を、基本的には貯められて、少しひびは入るかもしれないという評価をしておりますして、
1:10:10	もうその社平均中に満水になったとした時の漏洩量を、同意率を評価して、床の配管の全周破断、
1:10:21	からも漏らす量よりはもう 10 分の 1 とか 100 分の 1 であるということ
1:10:28	を、 評価しております。なので、タンクだけで評価してないのではなくて 2.2 の遮へい費の評価もしておりますので、嘘。そういう論理構成になっております以上です。
1:10:51	は、規制庁の服部です
1:10:54	今の話を少し聞いてると。
1:10:56	何となく、言ってることは同じだと思っていて、私のニシダと多分山浦さんの言いたいことは、
1:11:06	2.1 でわあ、漏れませんということを、
1:11:10	言っというて、
1:11:12	2.2 ナカD、もし漏れたらこうこうこういう対策があります。
1:11:17	でやったらわかりやすいんじゃないかなんて言ってんのかなっていう気もしたんですが、
1:11:22	そういう意味じゃないんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:28	中国電力田村です漏れませんっていうところ、このタンクは、水源としないタンクになってしまうのでそういう位置付けにはしませんということで、ちょっとずっとご説明をさせていただいて、
1:11:40	ただ、それではこのタンク壊れるのであれば、遮へい器の方にぶつかってくるんじゃないとか、そしたら、遮へい器も壊れてしまうとかそういう話もございましたので、
1:11:50	そんなに大きく答える話はございませんというのを説明させていただいて、このような論理構成にさせていただいております。以上です。
1:12:06	すいませんミナカワですけどこれ多分前回は御似たような議論あったような気がするんですけど、多分、
1:12:12	75 ページの 2.3 の書き方が誤解を生むんじゃないかなと思ってて、
1:12:18	いやすみませんこれ私の認識が間違ってたら出して欲しいんですけど。
1:12:23	まずその 74 の 2.1 では、タンク自体は、多分大丈夫だけれども、こんな不確かさがあって、三つぐらいの原因で、
1:12:33	ちょっと、
1:12:34	法漏えいが生じるかもしれないっていうのが 2.1 で言ってますと、でもタンクの外側には、
1:12:41	遮へい器があるので、その者性癖遮へい器まで考えると、ただ漏れっていうのはなくて、そっからちょっと漏えいするぐらいですねっていう形態に収まっていますと。
1:12:52	その状況を踏まえて 2.3 で、
1:12:55	多分一番最後のところに保守的に接続する配管の完全全周破断を想定しているという表現が、多分その 2.1 の、
1:13:04	ポツ三つのうちの 1 個に紐づいて、
1:13:08	何か想定しているように見えちゃうんですけど、これ違いますよね。この水量を保守的に表現する、復水量を保守的に設定するためってことですよね。
1:13:20	多分そういうところがちょっと誤解を生むんじゃないかなってちょっと聞いてて思ったので、そこら辺を、
1:13:26	表現適正化したらいいんじゃないかなと思ったんですけど。
1:13:30	いや、山浦さん、違います。
1:13:37	多分私は誤解したと思うんですけども 2.1 で三つ挙げられて、このうちの一つのタンクの配管接続部の影響についてののみ、2.3 で、
1:13:49	検討してるように読めるので、その付近の誤解が生じないようにちょっと整理していただければと思います。中国電力田村です。ちょっと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:00	はい。ご指摘の観点、ちょっと理解できておりませんでした
1:14:05	はい。今、ご指摘いただいた通りですので、そういう誤解が生じないような表現にいたします。はい。ありがとうございました。
1:14:17	規制庁植木です。すいませんちょっと追加で申し訳ないんですけど今の資料の 74 ページ例えば 74 ページで、
1:14:26	別紙 5 なんですけど、
1:14:29	これ、復水貯蔵タンクとか、三つのタンクを呼んでるんですけど、
1:14:36	これは
1:14:39	2 号というのはつけなくていいんですかさっき 2 号をつけるって言ったのはさっきの表だけつけるっていうことで、多分ほかにもいろいろ、
1:14:50	あるんだと思うんですけどこれ全部つけるつ。
1:14:53	つけるのかなというのは、
1:14:57	さっき 2 号っていう言葉をつけるっていう、
1:15:02	ことなんですけど、そうするとこここを読んでいくと、何か 1 号のタンクのことを言ってるのか 2 号のタンクのことを言ってるのか、どっちのタンクのことを言ってるのか。
1:15:13	なんかよくわかんなくなってくるので、
1:15:16	何かちょっとすごい中途半端
1:15:19	やるなら徹底してやらなきゃいけないし、表だけに限るんならそうして、どっかで断ってこれは 2 号のタンクです冒頭、
1:15:29	ていうのか。
1:15:32	おっしゃったように、同じ名前のタンクがいっぱいあるんで、すごくというのは例えば 1 号のCSでだったら、確か、
1:15:43	持つもつタンクで、以後はもうもたないから、こういう検討をしてるんですけど、何かそういう区別が全然す。ここを読んでもつかなくなってくる。
1:15:54	けど、
1:15:55	中国電力タムラで過ごして切り換えしましたアノ。
1:15:59	ちょっと通してみないと、全部着きますとか。ちょっと、
1:16:04	申し上げられないので、ただ
1:16:06	わかるようにしないといけないので、そこだけちょっと表の中では、全部並ぶからつけるんだとか、ちょっと通してみてもわかりやすくなるように、ちょっと、
1:16:18	記載を適正化します以上です。
1:16:20	規制庁大城ですはい。よろしくお願ひします。それからもう 1 点

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:25	72 ページで先ほど補足説明資料の引用の話があったんですけど、
1:16:32	例えば、これ、2- (2) で容器のスロッシング
1:16:38	呉の補足説明資料を呼び込んでるんですけど、番号はちょっとともかくとして、
1:16:46	多分ちょっと記念館、機電耐震関係と、
1:16:51	建物とか土木構築物とちょっと補足説明資料の
1:16:56	作り方が違って、きれん耐震関係は、個別の
1:17:02	資料でちゃんとタイトルつけて番号もつけてっていう、
1:17:07	やり方を、これ先行プラントからそうなんですけど、あまりこう、まとめてその中に木場をつけるとかっていうことはせずに、独立した当初に全部、
1:17:18	してるんですねその方がタイトルですぐ図書を探しやすいので、そうなっているんで、
1:17:27	記念耐震確保そ、そういう方先行からの方針はあまり変えない。
1:17:32	でいただきたいんですが当初まとめるところあんまりしないでいただきたいんですけど、それはよろしいんですか。
1:17:43	規制庁いつ今すぐ答えていただかなくてもいいんですけど、ちょっとこれは希望なんですけど、
1:18:15	規制庁ですこれって潜航みんなバラバラになっているので、あえて私までこうまとめちゃうと、検索しづらくなっちゃうんで、よろしくお願ひしたいんですけど。
1:18:25	中国電力の内藤です。
1:18:28	当社の補正、補足説明資料の構成は柏崎。
1:18:32	ベースとなってます、そこでまとめてなければまとめてない形で、最後を出すことになります。全体通して最後、わかるようには、したいと思ひます以上です。
1:18:48	規制庁、植木ですはい。よろしくお願ひします。
1:18:52	ちょっと今更言われた、柏崎がいいかっていうと、多分あんまりよくなくて、その後のプラントって多分見ながら、柏崎はバラバラバラバラなんですけど、
1:19:07	と希望としてそういうのがあります。よろしくお願ひします。
1:19:11	中部電力内藤です。はい。
1:19:13	当社、
1:19:14	アノし、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:15	審査始めていただいた段階で最後に委員会が出てたのが、柏崎というところでそこを、
1:19:23	やってたんですがその後女川出てますのでそこ見つつですねわかりやすいようにしたいと思います。以上です。
1:19:30	社長をください。よろしくお願いします。
1:19:39	はい。規制庁チギラですが、他、
1:19:44	確認する点ありますか。
1:19:47	よろしいでしょうか。
1:19:50	すいません午前中ですね二つポイントを予定してですね一つ目の水が大体質疑終わったところで、ちょっと二つ目、今からだとちょっと厳しいので、これ土建関係、
1:20:03	午後モード県のヒアリングがあるのでそちらの方でちょっと吸収してまとめて説明を受けたいんですけど、そのような詰め方でよろしいのでしょうか。
1:20:14	はい。中国電力ヨシツグでございます承知いたしました。午後からの案件とさせていただきます。以上です。
1:20:21	はい、ではよろしくお願いします。
1:20:25	例えば、溢水関係で確認する点よろしいですかね。はい。
1:20:29	中国電力の方からもよろしいですか。はい、わかりました。
1:20:35	それでは
1:20:37	はい。
1:20:38	午前中のヒアリング、今で終了いたしますありがとうございました。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。